



社協のマークです

- ❖ 友愛委員会の活動 ボランティア活動について
- ❖ ふれあいフェスティバル
- ❖ 一年を終えて 元旦マラソン

友愛委員会の活動

- ◇ひとり暮らしの老人を囲む会
(年4回)
ひとり暮らし老人介護者
(年4回)
- ◇配食サービス
(高齢者世帯)
- ◇介護講習会



社協鵜三支部 地域ボランティアの皆さん

これからは高齢者社会が進んで来ます。若い皆様の一人でも多くボランティア活動に参加されますことを願っております。

障害者との交流 桜まつりの時に車椅子の方々と一緒に花見をします。秋には運動会も行っています。全国障害者の日に近い日曜日にハンドイン ハンドでふれあいをもつ行事をおこなっています。

入浴サービス 搬送で稲田園に行き入浴のお手伝いを月一〜二回行っています。

配食サービス 毎週火曜日と鵜三支部第四木曜日の弁当の宅配をしております。

ボランティア活動として、配食サービス、入浴サービス、障害者との交流

ボランティアの仲間に誘って頂いてから早いもので十三年程になります。その間一人暮らしの高齢者の方、障害者の方、ボランティアの方々とのふれあいで友達も沢山出来色々の事を学びました。

ボランティア活動について

友愛委員 高山昭子



地域福祉の再考

友愛委員長 清水 稔

私が社協鵜三支部の役員を仰せつかつて早や七年目になります。社協の事業として一人暮らしの高齢者、寝たきりの方の介護者への配食サービス、そうした方々との地域ボランティア、民生委員との囲む会、福祉座談会を毎年実施してきました。この事業を主に支えて下さっている地域ボランティアの方達の顔ぶれは七年前とほとんど変わっておりません。ということは全員の方が七才年をとったということです。機会ある毎に若い人の加入を呼びかけていますが一向に効果がありません。原因は何処にあるのでしょうか。

一方鵜沼台、次に新鵜沼台と昭和四十年代後半から五十年代前半にかけて団地ができて、当時は働き盛りの人達ばかりで平均年齢もかなり若かったと思います。以後二十余年が経過し定年退職、子供の巣立ち、長年連れ添った夫や妻との死別等により高齢者の一人暮らしが急速に増加している現状です。全国の高齢化が叫ばれていますがこの地域にも例外なく高齢化の波は押し寄せています。このまま現在の事業を続ければこの先どうなっていくのだろうかと思ひます。

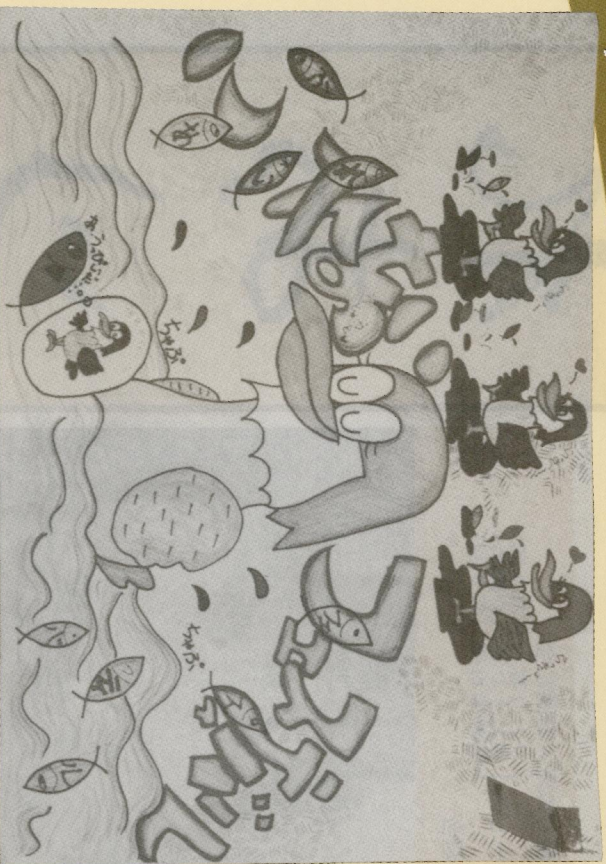
友愛委員会では対象の皆さん

に、少しでも温かい美味しい手作りの食事のサービスが出来るよう、ボランティアの方達は年一、二回の料理講習をしてきました。ほとんどの方は配食の日を愉しみにして下さる様ですが、中には食事の配達の間が遅い、料理がまずい等の苦情も聞こえてきます。ボランティアの方々の奉仕の精神で献身的に努力されていることも考えていただければと思います。配食サービスのため、前日の献立、買物、当日は九時前から狭い厨房での立ち通しの仕事は平均六十才超のボランティアさん達にとつては中々と大変の様です。全員参加の福祉のために、若い人達が積極的に是非参加していただけることを熱望いたします。

一人暮らしの寂しさ、また誰にも気兼ねする事なく気楽な暮らし、寝たきりの方を介護されている方々の苦しみ、千差万別で御本人以外にはとてもおし測ることは出来ません。それぞれのおかれた境遇、立場があります。同居できる子供がいない方、どうしても同居できない境遇の方等を優先的に援助するようきめ細かな気配りが必要になつてくるとは思ひます。

あいワエステイバル

平成7年8月20日(日)



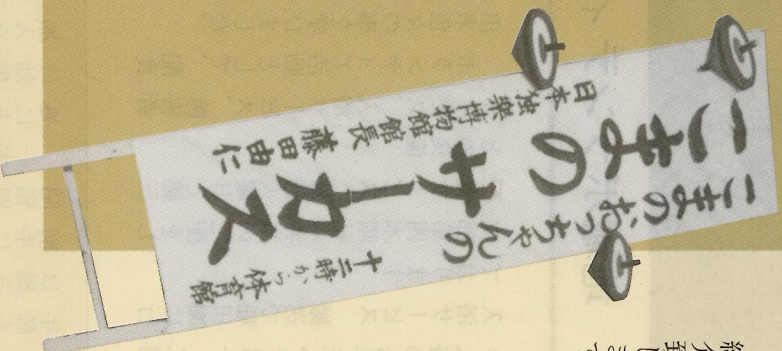
6年 梶田智紗子さん



受賞者のみなさん



おっちゃんのこまの妙技を真剣に見入るこどもたち



協調・参加・奉仕
 ぼくのまち わたしのまち ふれあいのまち
 早朝から始まった「三世代ふれあいクロッケーゴルフ大会」を皮切りに、十一のイベント広場、模擬店など、鶴三小学校を舞台に、実行委員の皆さんの苦勞と努力が実り、地域の皆さんの参加によって「ふれあいの広場」の花が咲きました。好評のうちに幕を閉じましたが、その一部をご紹介します。

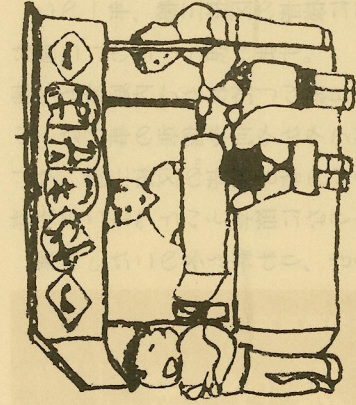
社協の広場
 ・災害対策コーナー
 ・航空宇宙博物館コーナー

囲碁将棋
 コーナー



将来の羽生名人になるかも……？





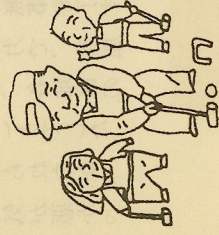
〈各種模擬店〉

- ・お好み焼き
- ・かき氷
- ・みたらし
- ・ラムネ・アイスコーヒー
- ・古本・水ヨーヨー
- ・わた菓子
- ・お花・農産物
- ・やきそば

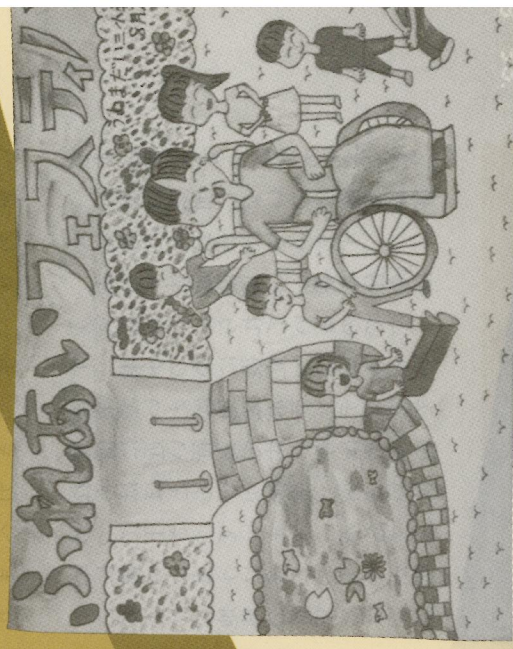


模擬店

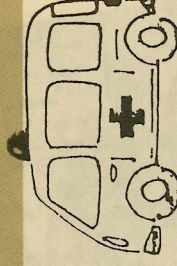
どの店も味はプロなみ



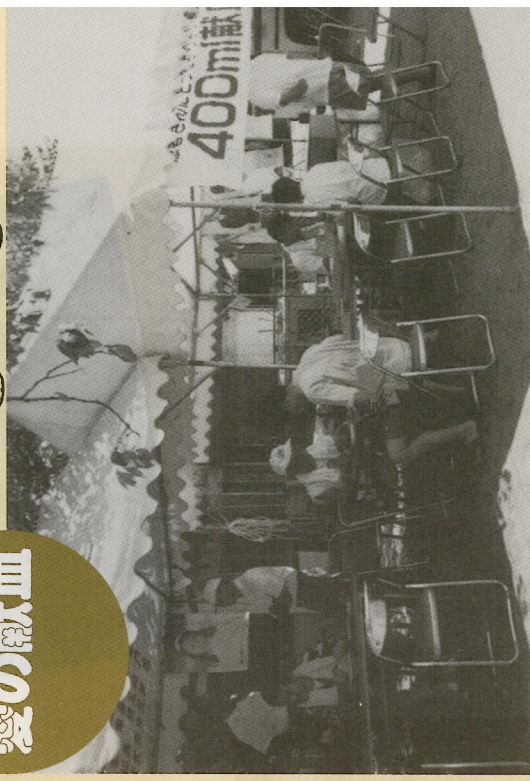
3年 高井聖美さん



こまを作る子供たち



愛の献血



146名の方が献血されました

『みなさん、ご苦労さまでした』

各務原市社会福祉協議会
鵜沼第三連合支部支部長

伊藤 尊志



この一年、
鵜三支部地域
の皆様には、
支部事業に対
し、深いご理

解と多大なご協力を頂き心より感謝
いたしております。本年は、役員人
事がまとまらず最終的に当番区（鵜
沼台）の自治会長に懇願する結果と
なり、そのアレーンにつきましても、
ほとんどが反強制的にお願いしたの
が実情でございます。そのため、活
動のスタートが大幅に遅れ、各委員
会の方々に多大なご迷惑、ご苦勞を
おかけした事をお詫び申し上げます。
難産の末、誕生した役員人事で
はございましたが、はや一年が過ぎ、
多くの事業も大過なく開催され、
ホツとする気持ちより、担当者みな
さんのご苦勞を思う時、感謝の気持
あるのみで言葉もございません。

福祉とは？ふれあいとは？ 確か
に本を見ればもつとももらしく活字
が並んでいますが、私の独断と偏見
で言わせてもらえば、己を愛し、家
族を愛し、隣人を愛し、友人を愛す
る気持ち（おもしろい）は誰しも持
ち合わせていると思います。

ただ、この気持ちを行動に変える
のに、どこで、なにをしたらいいの
かがわからないのだと思います。

自治会、各種団体、地域ボランテ
ア等に参画する事は地域の人を愛す
る事につながり、新しい「ふれあい」
も生まれ、「ふれあい」の輪も広がっ
ていくのではないのでしょうか。今後
も推進員として微力ながら参画いた
しますので一人でも多くの方の参画
をお願い申しあげ、挨拶とさせてい
ただきます。

『関係各位の皆様、ありがとうございます
でした』

